

# 人が生きて、まちが輝く 県政へ 新人、疾走る！

**小澤良央 (おざわよしなか)** 1973年9月19日、父・小澤良明（当時小田原市議）の長男として荻窪で産声をあげる。地元の芦子小学校、白山中学校を卒業。少年期から家業の建設業と機械ステンレス加工業の二つの会社に入出入りし、エンジニアの魂とモノを創り上げる難しさや喜びを学ぶ。東海大学付属相模高校、東海大学工学部動力機械工学科を卒業。今、経営の最前線で、人間力や夢を形にするパワーを磨くために、日々汗を流す。妻、長女、次女の4人家族。愛する家族のために、小田原を発信軸とした県政改革の実現を目指し、全力で疾走します！



## Q. ご家庭でのあり方は？

妻は私のことや子育てで本当に大変です。感謝しかないです。家庭がすべての力の源です。

## Q. 2人の娘さんについては？

仕事で夜遅く帰った時に、娘の寝顔を見ると疲れが吹き飛びます。同時に、この安らかな寝顔を守るのが自分の役割だと、痛感しています。

## Q. 最近、感動したことは？

東京オリンピック・パラリンピック招致活動で演説された佐藤真海さんの笑顔です。ハンディを乗り越えたあの微笑みは世界中を感動させたと思います。

## Q. 小田原を一言で言うと？

歴史、文化、自然。神奈川の魅力をギュッと凝縮させたのが小田原、まさに“宝宝箱”。皆様の力をお借りして、この宝石を磨くことが、私の役割だと思ってます。



# おざわ 良央

よしなか



新人、県政へ  
疾走る！

(おざわ事務所) 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪166

TEL 0465-35-0001 FAX 0465-35-4666 IP ozawayoshinaka.com

討議資料

HP [ozawayoshinaka.com](http://ozawayoshinaka.com)

# おざわ良央、始動します!

よしなか

「小澤さん、相談があるんです…。」  
若くして政治家となった父のもとには、  
はっきりなしに人が尋ねてきました。  
それこそ、日曜も祭日もありませんでした。  
「明日の休みには、一緒に出かける約束が…」  
「ヨシナカ、ゴメンな…」 そう言って、  
私の頭を撫でる父のすまなそうな顔は  
今でも忘れられません。

2人の子どもの父となった私は今、  
父と同じ道を目指そうとしています。

私は小田原をとっても愛しています。  
気候温暖で、文化や自然に恵まれ、  
穏やかな暮らしを営む人々。  
やさしさにあふれ、熱い思いで地域活動する人々。  
その小田原をもっともっと輝くまちにするために  
近隣の市町村との連携をヨコ糸に、  
県や国との協力をタテ糸に  
県西地域の多彩な輝きを織り成していきたい…。  
そんな強い思いに駆られています。

人が活きたら、まちが輝く。  
2020、TOKYO五輪開催に向け  
今日本が新しい時代を迎えようとしています。  
世界に向けて「復興・日本」の道筋を歩もうとする  
この時に、私は先人たちの「輝く松明」を  
高く掲げて歩いて生きたい、と決意を固めています。



2020東京五輪、  
世界の目が日本に！  
輝く、神奈川・小田原を！

教育こそ原点。人が活きる教育を

神奈川の**教育のあり方を見直し**、  
幅広い分野で活躍できる人材を育成します。

地域の特色ある県立高校づくり、質の高い教育環境の整備  
を目指します。児童の躰、徳育から、高齢者の生涯学習、  
生きがいづくりまで一貫した教育方針を確立し、人が活  
きる教育を目指します。

元気な小田原づくりや地域の活性化には

人々の熱い思いやアイデアを活かす  
**参加型の人材活用**が必要です。

経験や専門知識を活かした、まちづくりのための人材を育  
成し、地域を愛する人々による、活力あるまちを創ります。

超長寿社会での福祉や介護の有効な実践には、

他人に対する気づかひや、**助け合いの  
気持ちを見つめ直す**ことが大切です。

知識や経験のある高齢者の意欲を刺激する仕組みを構築し、  
福祉や医療、介護の現場で積極的に活躍していただきます。

少子化社会での子育て、教育問題の解決には、

地域社会や企業で、**母親や家族をサポート  
するシステム**が重要です。

働く女性の支援を目指す、保育園、幼稚園の充実や、小・  
中学生のアフタースクール制度の充実を図ります。

万一の場合に備えた防災、減災対策には、

先人の知恵や専門家の知識、**身近な人の  
ネットワーク**が欠かせません。

自治会、民生委員、消防団、防災リーダー、ボランティア等  
総ぐるみの緊密な連携による総合的な防災対策を進めます。